

## 平成27年 鳥取市政10大ニュース

順位	項 目	説 明
1	鳥取市人口ビジョン・鳥取市創生総合戦略の策定	本市の持つ魅力を最大限に生かした施策を実施し、人口減少の抑制につなげるとともに、目指す将来像である「いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる、自信と誇り・夢と希望に満ちた鳥取市」の実現に向け、平成27年9月30日に策定。
2	平成30年4月の中核市移行に向けて前進	昨年6月に市長が中核市移行を表明して以来、約2,200事務の移譲を受けるよう、8月に、県・市間の事務事業調整を行った。9月には、市議会で「鳥取市の中核市移行の推進に関する決議」がなされ、10月には、中核市移行の気運醸成を図るため、市民・関係団体等への説明会等を行った。中核市移行による鳥取市保健所の設置について、鳥取市保健所設置検討有識者委員会による提言を受け、市民政策コメントや、保健所関係機関の代表者や公募委員による鳥取市保健所設置検討委員会を開催し、保健所を駅南庁舎に整備すること併せて、駅南庁舎を健康・環境衛生・子育て等の総合支援の拠点とする鳥取市保健所設置基本構想を年内に策定する予定である。
3	新本庁舎建設へ向けた取組が前進中	平成26年12月市議会定例会において、鳥取市役所の本庁舎の位置を旧市立病院跡地に定める条例が可決されたことを受け、平成27年7月に「みんなでつくるとっとり市庁舎の考え方」を基本計画として決定し、11月には公募型プロポーザルにより設計者を選定するなど、費用の抑制に最大限努めるとともに、市民の安全、安心なくらしを支える拠点となるよう、平成31年の新本庁舎の完成に向けた取組を進めている。
4	ジャマイカ陸上チーム鳥取キャンプに市民沸く	ジャマイカ陸上チームが、世界陸上北京大会の事前キャンプを8月8日から18日までの11日間、コカ・コーラウエストスポーツパークにおいて実施した。2日間の公開練習には12,500人が詰めかけ、大勢の観客の前で素晴らしいパフォーマンスが披露された。また、市内の保育園や障がい者施設を選手が訪問し、市民とのふれあいや交流が行われた。
5	鳥取市医療看護専門学校開学	本市で誘致から開学等の支援を行ってきた鳥取市医療看護専門学校が4月に開学。次代の地域医療を担う人材を育成し、看護師等の慢性的不足を解消するとともに、若者定住による地域活力の創造を目指す。
6	鳥取市公式フォトガイドブック「すごい！鳥取市100SUGO！BOOK」発刊！	写真家 浅田政志氏が、鳥取市の「すごい！ネタ」100を撮り下ろした、鳥取市公式フォトガイドブック「すごい！鳥取市100SUGO！BOOK」が10月31日に全国発売された。また、これを機に、「すごい！鳥取市」のさらなる認知・興味喚起を図るため、11月2日に、東京・新橋のとっとり・おかやま新橋館2階にて、タレントのGENKIGさんをゲストに招いて、発売を記念した記者発表会を開催した。今後も、「すごい！鳥取市」を活用した本市への誘引の仕組みづくりを検討する中で、本市の地域ブランド力がますます高まることが期待される。
7	APGN山陰海岸シンポジウム日本初開催と世界ジオパークのユネスコ正式事業化	9月18日、19日に、日本で初めて第4回アジア太平洋ジオパークネットワーク山陰海岸シンポジウムが開催され、国内・国外合わせて約600名が参加した。また、平成27年11月17日、世界ジオパークネットワークの活動が、ユネスコの正式事業として認定され、「ユネスコ・グローバル・ジオパーク」となる。
8	優良企業の進出相次ぐ	3月に共和薬品工業(株)、4月に(株)イナテック、今井航空機器工業(株)、5月に(株)マルサンアイと100名以上の雇用計画を伴う企業の大規模進出が続いた。
9	「公共施設の更新問題」への対応指針！「鳥取市公共施設の経営基本方針」を策定！	全国の自治体で大きな課題となっている「公共施設の更新問題」を乗り越えるため、将来を見据えた総合的かつ長期的な公共施設マネジメントを行うため、2月に取り組み指針となる「鳥取市公共施設の経営基本方針」を策定した。
10	鳥取市プレミアム付地域振興券「ふくちゃん券」を発行！	地方創生の取り組みの一環として、鳥取市プレミアム付地域振興券「ふくちゃん券」を発行。事業主体である鳥取市商店街振興組合連合会は、全国でもトップクラスの早さとなる2月20日から購入予約受付を開始。3ヶ月間で約10万7000冊を販売し、消費喚起による地域経済の活性化、ならびに市民生活の支援に大きく寄与した。